

2026年5月20日

輸送動向について（2026年4月分）

1. 輸送概況

中東情勢を背景とする原油価格の高騰や原材料調達コストの増加により、国内の物価が引き続き上昇しており、個人消費は弱含みで推移している。当社においては、農産品・青果物や食料工業品等の減送が続き、本年の輸送実績は前年を下回った。

コンテナは、エコ関連物資が、中央新幹線建設工事に伴う発生土の減少により前年を下回ったほか、農産品・青果物が、前年に備蓄米が出貨好調となった影響により本年は減送となった。また、食料工業品は、ビール類が新商品の発売等により好調な荷動きとなったものの、清涼飲料水やその他の品目において荷動きが悪く、前年を下回った。コンテナ全体では前年比 93.7%となった。

車扱は、石灰石が、旺盛な出荷となり、前年を上回った。車扱全体では前年比 102.4%となった。

コンテナ・車扱の合計では、前年比 96.1%となった。

2. 輸送実績

(単位:千トン、%)

種別 扱別	月 計		前年比	年 度 累 計		前年比
	本年実績	前年実績		本年実績	前年実績	
コンテナ	1,545	1,650	93.7%	1,545	1,650	93.7%
車 扱	635	620	102.4%	635	620	102.4%
合 計	2,181	2,270	96.1%	2,181	2,270	96.1%

3. 品目別輸送実績表

(単位:千トン、%)

扱 別	品 目	本年実績	前年実績	増減	前年比
コンテナ	農産品・青果物	98	120	-21	81.7%
	化学工業品	132	137	-5	96.0%
	化学薬品	89	90	-0	99.1%
	食料工業品	253	269	-16	93.8%
	紙・パルプ	170	175	-5	96.9%
	他工業品	97	94	2	102.7%
	積合せ貨物	297	290	6	102.4%
	自動車部品	69	58	10	118.2%
	家電・情報機器	28	29	-1	95.5%
	エコ関連物資	38	80	-41	48.2%
	その他	271	302	-31	89.7%
コンテナ計	1,545	1,650	-104	93.7%	
車 扱	石 油	417	424	-7	98.3%
	セメント・石灰石	132	115	17	114.8%
	車 両	60	59	0	101.1%
	そ の 他	25	20	4	121.9%
	車 扱 計	635	620	15	102.4%
合 計		2,181	2,270	-89	96.1%

(車扱の品目別輸送量は社線発送トン数も含む数値、本年は速報値、前年は確報値)